

総合計画体系	事務事業名	公用車管理事業		所属部	総務部	所属課	管財課
	政策名	〈I〉みんなで築くまち〈協働・行政経営〉		所属G	財産管理監視G	課長名	富山照夫
	施策名	〈08〉健全財政の維持		担当者名	坂田裕二	電話番号	0854-40-1025
	目的・対象	市・県の財政	意図	健全に運営する。			
	基本事業	〈025〉効率・効果的な財産の管理運用		予算科目	0:110:0:3	大事業名	市有施設等管理事業
	目的・対象	基金・財産	意図	効率・効果的に財産を管理運用する。			
					0:530:0:3	中事業名	公用車管理事業

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
公用車	・公用車を適正な状態で運転できるように管理する。 ・集中管理による公用車の削減を図る。
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 ☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返(H16 年度～) ☐ 期間限定複数年度 (年度～ 年度)	市が所有、貸与を受けている車両(以下「公用車」という) 主として共用車と総務部管理車両、事故に伴う修繕費・賠償金。 初年度登録年度や走行距離を調査し、所管換等も行いながら運用している。
④ 主な活動 R5年度実績(R5年度に行った主な活動)	⑤ これまでの改革・改善経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)
① 公用車の取得及び処分並びに自動車検査の受検 ② 公用車の利用調整 ③ ガソリンの給油、オイルの補給等及び故障修繕対応等 ④ 交通事故の処理	平成26年度に公用車適正配車計画を策定した。 平成25年度に公用車の更新基準を定め平成26年度より計画的に公用車を更新している。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R3年度 (実績)	R4年度 (実績)	R5年度 (実績)	R6年度 (計画)
ア 職員一人当たりの公用車台数	台/人	0.3	0.3	0.3	0.3
イ 公用車台数(バス・特殊車両等除く。)	台	136	130	123	123
ウ 公用車の内、本庁共用車台数	台	7	8	8	8
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R5年度決算)		② コストの推移		単位	R3年度(決算)	R4年度(決算)	R5年度(決算)	R6年度(計画)
主な費用 ・管理事業：燃料費：1,324千円 ・管理事業：修繕費：2,001千円 ・管理事業：保険料：1,733千円 ・管理事業：賃借料：4,952千円 (上記以外は消耗品・手数料・公課費)327千円	財 源 内 訳	国庫支出金	千円					
		県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円	3,653	831	741	3,000	
		一般財源	千円	8,659	8,606	9,596	10,983	
	事業費計		千円	12,312	9,437	10,337	13,983	

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	公用車を年次・計画的に更新すれば、消耗修繕費といった経費を削減することができるようになる。 大部分の公用車のリース料・保険料を一括管理し、走行距離の短い車両は再リース、所管換え等を行い、効率的な運用を行っている。
② 事業実施するうえでの課題	公用車の適正配車計画に基づき保有台数の削減及び有効活用を図る必要がある。 交通安全教育の徹底では職員研修等の開催により、交通事故件数の減少を図る必要がある。(修繕費・事故処理業務人件費の縮減) 令和6年3月脱炭素社会実現計画が策定され、2030年公用車全車電動化が示された。
③ 課題解決に向けた改革改善等	経費の節減と公用車の安全運行を両立するため計画的に公用車の更新及び法定点検の実施を行う。 公用車の配置について、適正配車計画に基づき保有台数の削減及び有効活用を図る。 交通安全教育の徹底により、交通事故件数を減少させる。 日報のデジタル化などDXの推進も必要。